

会社支給か、BYOD か、 会社と従業員の win-win を実現する、 業務用スマホの選択肢

テレワーク・リモートワークの拡大に向け、業務用端末を新規導入したり、リプレイス導入したりする企業が増えている。その際、会社で用意する端末を貸与するか、個人所有の端末を BYOD で利用するか、という選択肢があるが、いずれの選択肢においても会社の事情が優先され、エンドユーザである従業員の立場は二の次にされてきた。本ホワイトペーパーでは、従業員の立場を優先して、業務端末の選択肢やその運用の仕組みについて考察。会社にもメリットをもたらす win-win のアプローチと、それを可能にするセキュア BYOD ソリューションについて紹介する。

INDEX

- 02 | 従業員のニーズより、企業視点が優先されてきた業務端末の導入
- 02 | ユーザビリティを重視するなら、社給端末より BYOD
- 03 | 各種補助・手当支給で、コスト削減効果を従業員に還元
- 04 | BYOD の大前提となるセキュリティを実現する「moconavi」
- 06 | 通話料・パケット代の公私分計を可能にする「moconavi」

従業員のニーズより、企業視点が優先されてきた 業務端末の導入

コロナ禍が続くなか、従業員のテレワーク環境を整備・拡大する企業が増えている。こうしたケースでは、大企業を中心に会社が用意する端末を貸与するのが一般的で、従業員が所有する端末を BYOD で利用するのは中小企業に限られていた。社給端末を採用する最大の理由は、会社のポリシーに沿った厳格なセキュリティ対策を施すことができ、プライベート利用の制限・管理や公私分計などに関する調整も不要だからだ。一方、BYOD の場合は、端末購入が発生せず低コストで導入できることが最大のメリットで、予算が限られる中小企業が好んで導入する理由であった。

いずれの場合でも、企業都合の視点で検討が進み、ユーザビリティなどに対する従業員のニーズが二の次になっている点は課題だと言える。

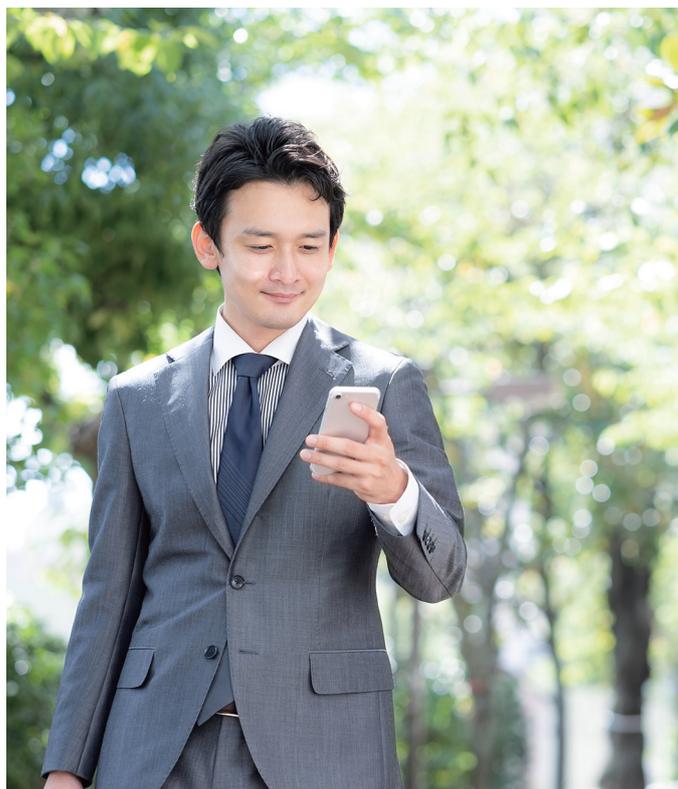


ユーザビリティを重視するなら、社給端末より BYOD

2010 年前後に登場し、注目された BYOD だが、その後、国内企業の間で大きく広がることはなかった。

むしろ、対策が不十分な個人端末のウイルス感染や、端末紛失にともなう情報漏えいなど、セキュリティ面の懸念が強調されたため、大企業を中心に選択肢として不適切という評価が定着している。そのため、導入企業は、セキュリティよりコストを優先する一部の中小企業に限定された。

だが、従業員の視点で理想の業務用端末を考えた時、BYOD は極めてユーザフレンドリーで、すぐれたソリューションだ。社給端末でユーザからよく出る不満の 1 つに“スマホ 2 台持ちの煩わしさ”がある。社給と個人所有の端末の両方を持ち歩くことになり、鞆が重くなるだけでなく、充電など日常の手間が増え、個人所有の端末とは操作方法も異なりストレスになる。だが BYOD なら、こうした心配は無用だ。



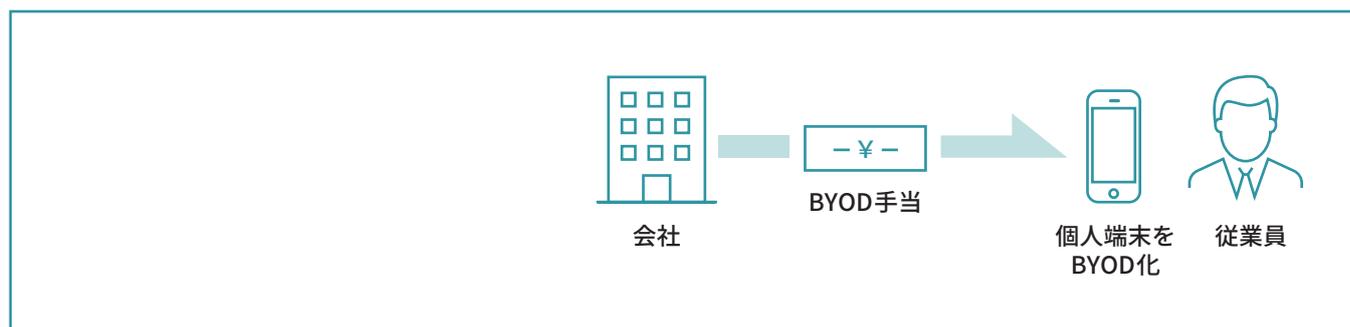
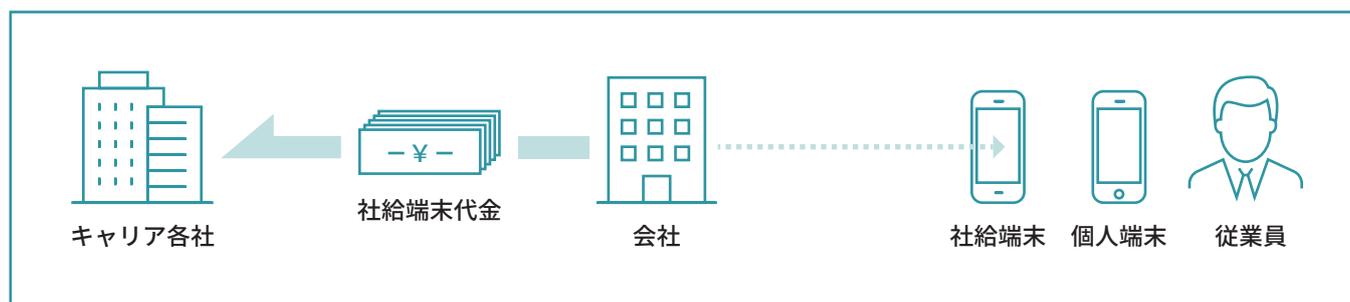
各種補助・手当支給で、コスト削減効果を従業員に還元

さらに、BYOD を推す理由はユーザビリティだけではない。コスト負担について、補助・手当の制度を設計することで、BYOD 導入によるコスト削減効果を従業員に還元できる点にある。

そもそも BYOD は、従業員の個人所有物を会社が“利用させてもらう”もので、企業側はその対価をきちんと支払うべきという考え方もある。実際、旧来の考え方にとらわれない新興 IT 系企業を中心に、いわゆる“BYOD 手当”を支給するケースも増加している。

株式会社レコモットでは、1万5,000円の一時金のほか、毎月7,000円の手当が制度化されている。個人所有の端末を会社業務に利用することのほか、会社業務でのデータ通信や自宅のWi-Fiなどネットワーク利用、自宅で端末を充電する際の電気代の一部などを総合的に考慮して支給している。このような制度によって、従業員は新たな現金収入を得る一方、会社は社給端末の購入コストを削減できる。お互いに金銭的メリットを享受して win-win の関係を実現している。

BYOD 手当で、会社・従業員ともに win-win を実現



BYOD の大前提となる セキュリティを実現する「moconavi」

BYOD 導入では、端末の紛失やウイルス感染による情報漏えいを防ぐセキュリティ対策が必須となる。下記では、こうした懸念を払拭する BYOD ソリューション「moconavi」について簡単に紹介する。

クラウド型で MAM 機能を提供する「moconavi」は、端末や通信経路にデータが残らない仕組みを実現している点で、一般的な MAM と一線を画している。社給端末にせよ、個人端末の BYOD にせよ、業務利用した際にはデータが端末に残り（保存され）、端末紛失によって情報漏えいするリスクがある。このため、リモートで端末初期化やデータ削除ができるよう、MDM（モバイルデバイス管理）ツールを併せて導入するのが一般的だ。だが、そもそも端末に業務データが残っていないければ、端

末を紛失しても、ウイルスに感染しても、情報漏えいを心配する必要がない。このことが、同社が「moconavi」を“セキュア MAM”と呼び、違いを強調する理由だ。

「moconavi」の実体は、スマホ・タブレット・PC 上で動くアプリだ。「moconavi」のセキュアなワークスペースで利用できる業務アプリは、「認証&セキュリティ」「情報共有」「UC&コミュニケーション」「顧客管理・ワークフロー」など多岐にわたり、オフィスの自席でおこなう PC 業務のほとんどをカバーしている。

このほか、オプションではあるが、「moconavi050」による 050 電話サービスや、「moconaviRDS」によるリモートデスクトップサービスも用意される。



主要な業務アプリ（クラウドサービス）に対応

認証&セキュリティ

MDM Optimal Biz BlackBerry Microsoft Intune

VPN・閉域網 KDDI docomo SmartVPN Cisco AnyConnect

多要素認証 PassLogic SECUREMATRIX

IDaaS okta HENNGE ONE Microsoft Azure Active Directory CloudGate

Gluegent Gadgets トラストログイン OPTIM ID+

UC&コミュニケーション

電話・UC UNIVERGE CERTIFIED KDDI docomo
KDDIビジネスコールダイレクト オフィスリンク
moconavi 050 050

ビジネスチャット
コラボレーション

Microsoft Teams

情報共有

グループウェア Garoon サイボウズ Office POWER EGG 3.0
 desknet's NEO Microsoft 365
 Lotus Notes / Domino Google Workspace Microsoft Exchange

ストレージ

box Microsoft SharePoint Microsoft OneDrive
 Google Workspace Dropbox Business

顧客管理・ワークフロー

CRM salesforce Microsoft Dynamics 365

名刺管理 sansan ホットプロフィール

WebDB / ワークフロー SmartDB kintone ジョブカン

リモートデスクトップ splashtop moconavi RDS

通話料・パケット代の公私分計を可能にする「moconavi」

また、BYOD 導入においては、業務時の通話料やパケット代が個人負担になる点も課題だが、「moconavi」では業務利用に使った費用を会社に請求するための仕組みがある。

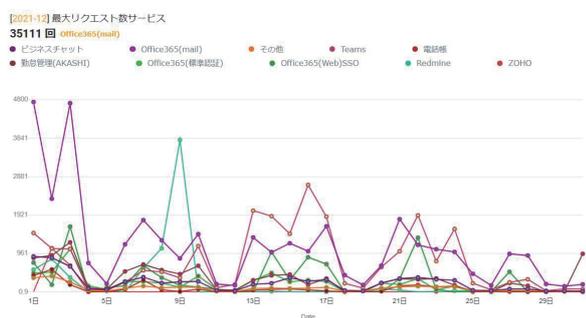
まず通話料については、1つのデバイスに、会社の電話（050 番号）と個人の電話（080・090 番号）の2つの電話番号を持つことができ、050 電話での通話は会社請求にすることが可能だ。また、パケット代については、moconavi 利用時に発生したパケット通信量を集計し、管理画面やアプリから確認することが可能だ。Wi-Fi と

モバイル通信やテザリング利用分を分けて集計でき、個人負担も明確になるので、ユーザーの安心感や適切な手当の支給につながる。さらに、管理者向けには利用量が一定の水準に達したユーザーに警告を送信する機能なども付属している。

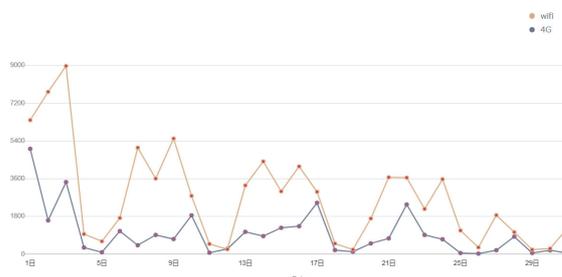
株式会社レコモットでは、これまで多くの企業に BYOD を提案・導入する過程でノウハウを蓄積。社内規定や手当など制度設計のサンプルも用意している。BYOD 導入を検討する際は、お気軽にご相談いただきたい。

各種サービスの利用状況推移を管理画面で確認

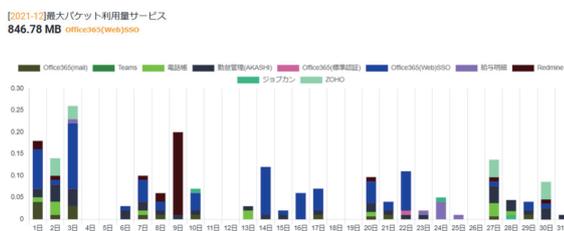
サービス別リクエスト数推移



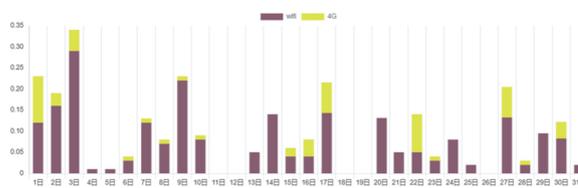
接続方式別リクエスト数推移



サービス別パケット利用量推移



接続方式別パケット利用量推移





recomot Inc.

レコモットは、人と人を繋ぐコミュニケーション手段を
革新的な方法で創造する IT カンパニーです

今いる場所が
オフィスになる

moconavi で安全なテレワーク

導入企業 1,000 社突破 / MAM 部門シェア No.1



サービスについてのお問い合わせ

 moconavi

モコナビ 

 03-4446-5007
(平日 10:00~18:00)

